

## 下院歳出委員会で承認された「2018 年度エネルギー・水資源開発予算法案」

2017 年 7 月 12 日  
NEDO ワシントン事務所

下院歳出委員会が 2017 年 7 月 12 日に、エネルギー省 (DOE) のプログラム (国家核安全保障局 (NNSA) の核兵器プログラムを含む)、陸軍工兵部隊、及び、その他関連省庁に 2018 年度予算として 375.6 億ドル<sup>1</sup>を計上する、『2018 年度エネルギー・水資源開発歳出予算法案 (Energy and Water Development and Related Agencies Appropriations Act, 2018) 』を可決した。

同法案のマークアップ公聴会では、Marcy Kaptur (オハイオ州)、Derek Kilmer (ワシントン州)、Nita Lowey (ニューヨーク州)、Barbara Lee (カリフォルニア州)、Matt Cartwright (ペンシルバニア州) 等の民主党歳出委員が、①DOE のエネルギー効率化・再生可能エネルギー (EERE) 予算の大幅削減及び②ARPA-E 廃止に対する反対を繰り返し表明した。下院歳出委員会の Michael Simpson 委員長 (共和党、アイダホ州) は、自分も ARPA-E 支持派であるが、緊縮予算の中で困難な決断を行わざるをえなかったと説明する一方で、歳出法案策定は進行中であり、この下院案はプロセスの第一段階でしかなく、今後のプロセス (上院の歳出法案、上下両院協議会での審議等) で ARPA-E 予算が変わる可能性があることを指摘。2018 年度の歳出法案が成立し、法令によって命じられるまでは、DOE は ARPA-E を閉鎖する処置を取るべきではないことを強調した。

同予算法案に盛り込まれた DOE 全体の 2018 年度予算は、2017 年度予算を **8 億 5,765 万ドル (2.8%) 下回る 298 億 4,010 万ドル**。このうち、2018 年度のエネルギー関連プログラム予算は 96 億 900 万ドルで、2017 年度予算を 16 億 7,500 万ドル下回るものの、トランプ大統領の 2018 年度予算要求額と比較すると 20 億 9,800 万ドルの増額となっている。DOE エネルギー関連予算の主要プログラムの予算は以下の通り。

### エネルギー関連予算の内訳

(単位：百万ドル)

	FY2017 予算	FY2018 要求	FY2018 下院歳出委員会	FY2017 比 FY2018 下院	FY2018 要求比 FY2018 下院
エネルギー効率化・再生可能エネルギー	<b>2,090</b>	<b>636</b>	<b>1,104</b>	<b>986 減</b>	<b>468 増</b>
再生可能エネルギー <sup>2</sup>	451	134	190	261 減	55 増
持続可能な運輸技術 <sup>3</sup>	613	184	268	345 減	84 増
エネルギー効率化 <sup>4</sup>	762	160	481	280 減	322 増
組織支援 <sup>5</sup>	265	218	224	41 減	6 増
配電・エネルギー信頼性	<b>230</b>	<b>120</b>	<b>219</b>	<b>12 減</b>	<b>99 増</b>
原子力科学技術	<b>1,017</b>	<b>703</b>	<b>969</b>	<b>48 減</b>	<b>266 増</b>

<sup>1</sup> 2017 年度予算を 2 億 900 万ドル下回るものの、2018 年度大統領予算案と比較すると 36.5 億ドルの増額。

<sup>2</sup> ソーラー、風力、地熱、及び水力

<sup>3</sup> バイオエネルギー、自動車技術、水素・燃料電池技術

<sup>4</sup> 先進製造技術、ビルディング技術、連邦エネルギー管理計画、耐候化・政府間活動、等

<sup>5</sup> プログラム指針、国立再生可能エネルギー研究所 (NREL) の施設・インフラ整備、等

化石エネルギーR&D	<b>668</b>	<b>280</b>	<b>635</b>	<b>33 減</b>	<b>355 増</b>
石炭	424	165	441	17 増	276 増
-炭素回収	101	16	95	6 減	79 増
-炭素貯蔵	95	15	89	6 減	74 増
-先進電力システム	105	46	103	2 減	57 増
-その他 <sup>6</sup>	123	88	155	31 増	66 増
ウラニウム濃縮汚染除去・破棄基金	<b>768</b>	<b>753</b>	<b>768</b>	<b>±0</b>	<b>15 増</b>
エネルギー情報局	<b>122</b>	<b>118</b>	<b>118</b>	<b>4 減</b>	<b>±0</b>
防衛以外の環境浄化	<b>247</b>	<b>218</b>	<b>222</b>	<b>25 減</b>	<b>4 増</b>
科学	<b>5,392</b>	<b>4,473</b>	<b>5,392</b>	<b>±0</b>	<b>919 増</b>
ARPA-E	<b>306</b>	<b>20</b>	-	<b>廃止</b>	
核廃棄物処理	-	<b>90</b>	<b>90</b>	<b>新規</b>	<b>±0</b>
ローン/ローン保証計画	<b>12</b>	-	<b>7</b>	<b>5 減</b>	<b>7 増</b>

(四捨五入につき、合計は必ずしも一致しない)

## 同歳出法案のハイライト：

- 2018 年度 ARPA-E 予算はゼロ。ARPA-E は、前年度繰越額を利用して、廃止を実施。
- トランプ政権のユッカ・マウンテン核廃棄物処理場政策を支援。同処理場の許可申請を再開するため、核廃棄物処理予算で 9,000 万ドルを計上<sup>7</sup>。
- 2018 年度配電・エネルギー信頼性予算のエネルギー配給システムの為のサーバーセキュリティ (CEDDS) 勘定で、大規模グリッド・テストベッドの開発継続に 900 万ドルを計上。
- エネルギー効率化・再生可能エネルギー (EERE)
  - 再生可能エネルギー
    - ソーラーエネルギー予算は 2017 年度予算比で 56.6%減
    - 風力発電予算は 2017 年度予算比で 64.7%減
  - 持続可能な運輸技術
    - 自動車技術予算は 2017 年度予算比で 59.3%減
    - 水素・燃料電池技術予算は 2017 年度予算比で 47.5%削減
  - エネルギー効率化
    - 先進製造技術予算は 2017 年度予算比で 60.4%減
- 化石エネルギーR&D
  - トランスフォーメーションな石炭技術を利用する 2 件の大型パイロットプロジェクト支援に 2,500 万ドル
  - 豊富な国産炭及び天然ガスを利用し、水消費を最小限に抑えるコスト効率的な先進発電システムの研究開発を推進するため、固体酸化物燃料電池 (SOFC) に 3,000 万ドルを計上

<sup>6</sup> 分野横断型リサーチ、国立エネルギー技術研究所 (NETL) 石炭研究開発、STEP (超臨界 CO<sub>2</sub>)、及び、トランスフォーメーションな石炭パイロットプロジェクト。

<sup>7</sup> 同予算に加えて、国防核廃棄物処理予算から 3,000 万ドル、原子力規制委員会 (NRC) から 3,000 万ドルが計上される。